

# 会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 蕨市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和元年6月18日(火) <input type="checkbox"/> 午前・午後10時30分から <input type="checkbox"/> 午前・午後12時00分まで
開 催 場 所	蕨市役所4階 第一委員会室
出 席 委 員	松田香織、佐々木美保子、梅田利絵、萩原裕子、奥田十善、 日山秀利、内村佳子、秋元知子、後藤さゆり、杉山節子、 金丸謙二（敬称略）
事 務 局 職 員	関久徳（健康福祉部長） 福田望（児童福祉課長） 津田伸一（児童福祉課長補佐兼保育係長） 荒井智見（児童福祉課児童福祉係長） 三角浩之（児童福祉課保育係）
会 議 内 容	第2回 蕨市子ども・子育て会議 1 開会 2 議題 (1) 利用希望把握調査結果報告について (2) 量の見込みの算出における人口推計について (3) その他 3 閉会
会 議 資 料	1 蕨市子ども・子育て支援事業計画 2 統計データにおける蕨市の現況について 3 利用希望把握調査報告書 4 蕨市量の見込みの算出における人口推計について
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開    2 一部公開    3 非公開 （傍聴者    0人）

## (第2回 蕨市子ども・子育て会議)

### 1 開会

(会長挨拶)

(職員自己紹介)

### 2 議題

(1) 利用希望把握調査結果報告について

①外国人へのアンケート調査の実施等について

〔会長〕アンケート調査について、外国人への実施割合及び回答率はどの程度か。

〔事務局〕国籍を問うていないため不明。

②アンケート調査結果の信頼性について

〔委員〕アンケート調査結果の信頼性を証明するような資料はないか。

〔事務局〕回収率 50%を超えているので、他市事例と比較しても多く、問題ない。

③外国人との共生について

〔委員・会長〕保育所に入る外国人は、0歳児は少ないものの4～5歳児が特に多く、外国人に対する保育の質をどのように確保していくかなど、共生のためのサポートを考えていくことが必要であり、本計画において何らかの施策提案がほしい。

〔委員〕共生のためのサポートについては、保育の質の確保よりも、日本の教育・保育の仕組みの理解促進が必要であると実感している。例えば、幼稚園とはこういうところだと説明を受けて入園したのに、夏休み中も同じ利用料で預かって欲しいと主張される方がいた。幼稚園での預かり保育と保育園の違いを分かっていただけない場合なども多い。

〔事務局〕平成30年度から市としても保育・子育てコンシェルジュを配置して理解促進を強化しているところであるが、まだ完全ではないと思われる。

〔委員〕より一層きめ細かなサポートが必要と認識する。

④幼稚園の利用希望に対して

〔会長〕女性の就労者数は増加しているものの、まだまだ女性が仕事を辞める状況も多いことから、保育園よりも幼稚園の希望が多いものと考えられるが、これらに対しての市の認識はどうか。

〔事務局〕調査結果からも、幼稚園希望者数が多いことが分かったので、預かり保育も含めた幼稚園の活用・拡充が必要と認識している。

⑤認定こども園について

〔会長〕認定こども園の良さは、親の就労形態に合わせて変化していけるところと思われるが、今回の調査では、思った以上にニーズが少なく、周知が足りていないということも考えられるのではないか。

また、希望者が少ないからこのままでよいというのではなく、認定

こども園のメリット等を踏まえ、幼稚園を認定こども園に移行するといった考え方も、必要ではないかと思われる。

〔事務局〕認定こども園のニーズが少ないことは、市及び近隣に認定こども園がないことが影響していると考えます。幼稚園に対する認定こども園への移行については、制度が始まった時に周知を行ったが、現在、近隣の川口市及び戸田市においても移行が進んでいない状況であり、園側の経営方針も絡んでくるため、現時点で市としての積極的なアプローチは難しいと感じています。

〔会長〕認定こども園に対するニーズをもっとしっかりと把握したうえで、認定こども園に関する何らかの検討をお願いしたい。

#### ⑥学童保育の質について

〔会長〕学童保育については、公営施設と民営施設（公設民営）では質の違いが生じているように思われる。質の均等化を図るため、市における研修費の負担も含めた研修制度等の導入を検討してはどうか。

〔事務局〕質の違いについては、公営、民営の違いによるものではないと認識している。支援員の研修は H27 より県が実施している。その他の研修参加状況について、公設民営の場合は運営費に研修費も含まれていると認識しているため、新たに研修費を設けることは考えていない。

〔委員〕学童保育の特色等について、コンシェルジュが中心となり、積極的な情報発信を行って頂きたい。例えば、学童の特色を一覧にして配布するなどすれば、利用者は選択しやすくなる。

〔事務局〕更なる情報発信の強化に努めたい。

〔会長〕民営施設のサービスへの市への関与はどのような状況となっているのか。

〔事務局〕現在、基本的に関与はしていない。それぞれの学童の独自性に任せている状況である。

〔会長〕今後、学童保育の質の向上を図るために、是非、情報交換の場について検討して頂きたい。

〔委員〕保育園と学童保育の始業時間の違い（保育園おおむね7時半、学童8時半）によって、学校の夏休みなど、学校保育への送りについて、ファミサポに相談に来られる方が多い。多くの利用者が来られた場合、ファミサポとしても対応が困難であることなどから、始業時間のギャップ解消に資する施策を検討する必要があるのではないか。

〔事務局〕市長のマニフェストの一つでもあるため、本計画期間中には対応を考えているところであるが、開始時間に関しては、平日に学校に登校する時間も勘案して検討していきたい。

〔会長〕就労している親が増えてきている中、児童の放課後の過ごし方や長期休暇中の過ごし方については、重要な課題の一つとなってきている。そのため、学童保育へのより一層の支援策等についても検討をお願いできればと思う。

〔委員〕人材が足りないのであれば、シルバー人材センターや社会福祉協議会との連携など、従来の形にとらわれない仕組みづくりを検討していくことも必要ではないか。

〔委員〕学童保育の質の向上を図るため、利用料を上げて、様々なサービス展

開を考えてはどうか。

〔会長〕 利用料を上げて解決するという考え方には限界があり、それよりも地域の中の連携（市における他部署間連携含む）を高め、それをいかにしてサービスに転化していくかという発想が重要である。

⑦人材の確保について

〔委員〕 保育所、学童保育においても人材確保が一番大変であり、今後人材をどのように確保していくかが重要課題と思われる。また、市内の事業所内保育をもっと増やして活用するなど、受け皿の確保も必要と思われる。

〔事務局〕 現在、蕨市には事業所内保育が1つもない状況である。

⑧日曜日の保育園の開設について

〔委員〕 現在、蕨市では日曜日に開設している保育園はない状況であるが、休日出勤の方も多く、また、女性の就労と子育て環境という側面から、若者を呼び込む施策としても有効と思われるため、日曜日の保育園の開設等についての対応を強化すべきではないかと思われる。

〔事務局〕 現在、ファミサポと緊急サポート事業で対応している状況である。

⑨一時預かりについて

〔会長〕 家庭で保育されている方で、リフレッシュの一環として一時保育を希望される方も多いため、一時預かりの施策強化の必要もあるのではないかと。

〔事務局〕 現在、公立4園において一時保育を実施しているが、小規模保育園でも実施しているところがあると聞くので、情報収集し案内していきたい。

(2) 量の見込みの算出における人口推計について

①外国人の将来人口推計について

〔会長〕 近年の外国人の伸び率だけではなく、住宅供給の現状や過去の外国人の伸び率等を考慮した推計結果（近年の伸び率よりも抑えた推計結果）ではあるが、コミュニティというものが一旦形成されれば、そこに人がたくさん集積してくる傾向があり、そうした観点から近年の外国人の伸び率は、今後も当分の間継続することも予想される。そういった考え方も念頭に置く必要があると思われる。

(3) その他

次回会議 8月下旬予定

### 3 閉会